

島根県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

●島根県の公立高校入試は推薦選抜・スポーツ特別選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
推薦選抜・ スポーツ特別選抜	1/7(金)~13(木)	-	学校指定日	1/25(火)
一般選抜	1/27(木)~2/1(火)	[変更] 2/8(火)~10(木) [再出願] 2/14(月)・15(火)	3/3(木)	3/11(金)

●出願は一人1校1学科に限ります。
ただし、一般選抜において、同一学校内に複数の課程、学科がある場合には、第2、第3、第4志望まで順位をつけて出願することが可能です。
また、本校と分校、全日制課程と併設する定時制課程を併願することも出来ます。

●原則いずれの高校にも出願可能です。
ただし、右の一覧の「地域を持つ学校」には合格者に関する制限があります。

学校名	地域	地域外の合格者の割合
松江北	松江市	10%以内
松江南	松江市	10%以内
松江東	松江市	10%以内
出雲	出雲市	5%以内

推薦選抜

●当該学校・学科・コースを志望する動機や理由が明確で適切、かつ、適性及び興味・関心を有している者、また、合格した場合、入学の意思が確実である受検者等が対象です。その他、スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動等の項目があれば、各学校が定めて、募集要項に明記されます。

●募集人員は、全学科（体育科を除く）とも募集定員の40%程度までの範囲で、各学校により決定されます。なお、松江北高校と松江東高校については、地域外入学定員の40%以内とします。

●選抜資料

- ・面接…志願者全員に対して実施
- ・学校採択による検査…作文、実技検査等（必要に応じて実施可能）
- ・個人調査報告書…学習成績・特別活動の記録等

・以上の資料をもとに、選抜を行います。スポーツ特別推薦と同時に出願することは出来ません。

スポーツ 特別選抜

●スポーツの各種大会で実績を有する又は部活動等で優れた資質や能力を有する者、また合格した場合は入学の意思が確実であり、入学後も応募したスポーツの継続的な活動を希望する者が対象です。

●募集人員は、1校1競技当たり4名以内です。指定競技が2以上の場合は8名以内となりますが、この場合も1競技で4名を超えてはいけません。なお、同一指定競技が男女それぞれにある場合は、男女各4名以内となります。

●選抜資料

・面接，提出書類(個人調査報告書，推薦書など)

●以上の資料をもとに，選抜を行います。
推薦選抜と同時に出願することは出来ません。

一般選抜

●選抜資料

学力検査	国語・数学・社会・英語・理科の5教科(各50分，各50点) ・学校，学科の特色によって，2倍を限度とし，特定の教科において傾斜配点を行うことがある。
学校採択の検査	面接，実技検査(10点を限度)
個人調査報告書	①各教科学習の記録(評定) 中学3年間の9科(5段階評価)が対象…180点満点。 ②特別活動の記録 ・学級活動・生徒会活動・学校行事の3項目を各3点満点とし，計9点満点。

●それぞれの点数は以下のように算出されます。

《学習の記録評点》…素点×51/180(51点満点) } 個人調査報告書点
《特別活動の記録評点》…素点そのまま(9点満点) } (60点満点)

個人調査報告書：学力検査の比率は，80：20～40：60の間で各学校により定められます。

【例】60：40 報告書点(60点)+学力検査×0.16(40点)=100点

80：20 報告書点×8/6(80点)+学力検査×0.08(20点)=100点

面接や実技を実施した場合は上記に足して計算します。(最大110点満点)

●判定は，上記資料を用い，各学校の求める生徒像及び選抜において重視する点を踏まえて行われます。第1志望者のうち，学習の記録・学力検査評点が上位者より数えて各学科の入学定員の80%以内で，調査書・面接等で要検討でない受検者をⅠ群とし，全員合格とします。残りをⅡ群とし，第1志望・第2志望等の区別なく選抜します。